熊谷市子育て支援・保健拠点施設の整備に関する個別説明会について

１　個別説明会開催状況

⑴　開催日時　令和 3 年 7 月 30 日（金）、31 日（土）【2 日間・全 8 回開催】

⑵　開催場所　熊谷市立石原小学校　図書室

⑶　参加人数　37 人（各回の参加者は以下のとおり）

開催時日	参加人数
① 7 月 30 日（金）　9 時 30 分から	3 人
② 7 月 30 日（金）10 時 30 分から	5 人
③ 7 月 30 日（金）18 時 00 分から	8 人
④ 7 月 30 日（金）19 時 00 分から	2 人
⑤ 7 月 31 日（土）　9 時 30 分から	6 人
⑥ 7 月 31 日（土）10 時 30 分から	6 人
⑦ 7 月 31 日（土）13 時 00 分から	3 人
⑧ 7 月 31 日（土）14 時 00 分から	4 人

２　個別説明会での御質問・御意見

・開催回毎ではなく、テーマ毎に趣旨を要約し、掲載しています。

・類似した御質問、御意見は、代表的なものに集約しています。

・本施設の導入機能の考え方、配置計画及び整備に直接関係あるもののみを掲載しています。

⑴　今後の整備予定及び基本構想・基本計画について

参加者からの質問・意見	熊谷市の見解・回答
いつ頃から工事が始まるのか。(いつまで広場として利用できるのか。)	工事は令和６年度・７年度を予定しています。令和５年度までは概ね現在と同じような使い方ができると考えています。
配置案に学童保育の整備予定地が記されているが、いつ頃できるのか。	現在石原小学校区には、５つの児童クラブがあり、うち１つが学校敷地外にあります。整備の時期や対象については、今後検討していくこととなります。
一方通行を交互通行にする考えはあるか。	交互通行にする考えはありません。
この場所以外に整備予定地の候補はなかったのか。	蚕業試験場跡地は市有施設の整備を前提に市が県から購入した土地であり、暫定的に広場として利用してきました。母子健康センターや石原保育所など再編対象施設からも近いことから、この場所での整備を検討しました。
保健センター、保育所等の跡地を今後どのように活用するのか。	母子健康センターについては、本施設に従事する職員等の駐車場等として利用する予定です。比較的新しい施設は用途変更し活用する予定です。
桜町一丁目 1193-1 番地は利用できないのか。	市の別の事業で利用する予定であるため、本事業の整備予定地には含めていません。

⑵　施設の運営等について

参加者からの質問・意見	熊谷市の見解・回答
各施設の開館時間を教えて欲しい。	（仮称）こどもセンターは 8:30～21:30、(仮称) 中央保育所は 7:30～18:30、(仮称) 保健センターは 8:30～17:15、休日・夜間急患診療所は平日が 19:30～22:00、休日が 9:00～16:00 を想定しています。
休館日は設けるのか。	（仮称）こどもセンターについては、年末年始のみの休館を想定しています。他の施設については、現行施設の休館日と同じにする予定です。

こどもセンターの活用、特に児童生徒たちが登校している時の利用をどのように考えているのか。	概ね3歳までの幼児や保育園・幼稚園に行っていない未就学児及びその保護者を対象とした、地域子育て支援拠点事業の実施を検討しています。
石原小の児童と地域の見守り隊の方々との交流会をこの場所で実施している。施設整備後も交流活動ができればとても良いことだと考えている。	（仮称）こどもセンターの施設の管理は事業者に委ねることとなりますが、施設全体の運営に関しては各施設の代表者や利用者で構成する、運営協議会を設置する予定です。地域行事での施設の活用は、協議会において相談していただく形になると考えています。
現在は地域スポーツ団体が利用しているが、新施設の屋外広場でも同じような活動ができるのか。また、代替地のあっせん等の予定はあるか。	新施設の屋外広場は、グラウンドではありませんので、特定のスポーツを定期的に行うことは想定していません。また、代替地のあっせん等は予定していません。
新施設の屋外広場は、今までと同じように貸し切り利用ができるのか。	
芝生広場、屋外広場はどのような利用を想定しているのか、また利用時間に制限があるのか。	屋外広場は（仮称）こどもセンターと一体的な利用を想定し、遊具などを設置する予定です。芝生広場は、遊具などを置かず、走り回れるようなスペースとする予定です。利用時間は（仮称）こどもセンターの運営方法と合わせて検討していきます。
複合施設としてどのような管理体制を検討しているのか。	施設ごとに館長を置き、その上に全体を統括する施設長を置く予定です。施設長は災害発生時の対応などが求められることから、市職員が望ましいと考えています。
石原小学校の運動会の際に駐輪場として借りることはできるか。	施設管理者と協議が必要です。施設の運営にあたっては、運営協議会を設置する予定ですので、そこで学校の行事予定などを共有していただければと思います。
今後も広場は公園緑地課が管理していくのか。	広場部分の維持管理については、民間事業者への委託を想定しています。

事業形態及び職員の雇用形態について。	（仮称）中央保育所、（仮称）保健センター、休日・夜間急患診療所は、今後も市の直営となります。（仮称）こどもセンターは民間事業者への委託を予定しています。
各施設の職員数はどの程度を見込んでいるのか。	休日・夜間急患診療所は 5 人程度、その他の 3 施設については、40 人程度を見込んでいます。
中央保育所の定員及び職員数はどのくらいか。	定員は 150 人、職員数は 40 人程度を想定しています。
敷地内に職員駐車場を設けないとのことだが、どのような通勤手段、経路を想定しているのか。	８割程度が自家用車、自転車・徒歩が２割程度、バス利用者が数人と考えています。現在の母子健康センターを職員用駐車場として利用する予定です。

⑶　施設の機能について

参加者からの質問・意見	熊谷市の見解・回答
「子育て支援」だけでなく、地域の高齢者が堂々と使えるスペースを確保して欲しい。	ウォーキングコースや健康遊具コーナーは、児童だけでなく、全世代の健康増進のための施設として整備する予定です。
誰もが気兼ねなく散歩や自転車の練習ができるスペースを残して欲しい。	ウォーキングコースや広場のスペースを出来るだけ確保したいと考えています。
周遊路や健康遊具コーナーの近くにベンチの設置をお願いしたい。	ベンチや遊具等の種類や配置は今後検討していきます。
健康施設や遊歩道の自由利用と、子ども向け施設のセキュリティの問題はバランスを取るのが難しいが、調和のとれた雰囲気づくりをお願いしたい。	いただいた御意見は今後の検討の参考にさせていただきます。

（仮称）保健センター及び（仮称）こどもセンターへのバリアフリー設備の導入を前向きに検討して欲しい。	トイレやエレベーター等においてバリアフリー設備の導入を検討していきます。また、遊具についても導入を検討していきます。
聴覚障害者でも館内放送の内容がわかるよう、電光掲示板などの導入を検討して欲しい。	聴覚障害者向けのコミュニケーションとしてどんな手法が有効であるか、今後対応を検討していきます。
熊谷の養蚕の歴史や文化を伝承するためのブース設置やイベントを検討して欲しい。	（仮称）こどもセンターは多様な学びを提供する場でもありますので、どのような形で実施できるか検討していきます。
地域住民も（仮称）こどもセンターを利用することはできるのか。	児童福祉法に基づく児童館、児童センターを想定しています。地域住民の利用については、今後検討していくこととなります。
バス停・タクシー待機所の設置予定はあるか。	バスについては、ゆうゆうバス（直実号）の母子健康センター前停留所の移設を検討しています。タクシー待機所の設置予定はありません。
避難所としての機能は持たせるのか。	現時点では、小学校のように一次避難所として活用することは想定していませんが、災害発生時に利用者が一時的に安全に留まることができるよう、必要な設備、資機材等を整備していきます。
複合施設を作ることは素晴らしいと思うが、情操教育や三世代交流事業の実施など、ソフト面の充実はさらに重要である。	いただいた御意見は、運営に係る要求水準書等の作成の参考にします。

⑷　施設の配置計画・外構計画について

参加者からの質問・意見	熊谷市の見解・回答
東側出入口付近の大桜を残して欲しい。	建物及び駐車場の配置と合わせて検討していきます。
できるだけ既存樹木を残してもらいたい。また、芝生や土の部分を極力広く取って欲しい。	
西側出入口付近の木から大量の落ち葉が住宅内に進入し苦慮している。伐採を検討して欲しい。	当該箇所については、敷地内通路（歩道）の整備を予定しており、伐採予定です。
敷地全体で既存樹木を何本伐採するのか。	建物や駐車場の配置により異なりますが、概ね 1/2～2/3 程度伐採予定です。
雨水排水対策は検討しているのか。	県条例や市の雨水流出抑制基準に基づき、抑制施設の設置を検討していきます。
施設ができることにより、日当たりが悪くならないか心配である。	各施設は２階建てまたは平屋建てを想定しています。
東側市道の出入口には、南側だけでなく、北側にも歩道があると利便性が向上する。	現在の計画では、北側は駐車場を想定しています。駐車台数を減らさずに歩車分離が可能か等検討していきます。
駐車場について規制を設ける予定はあるか。	現在のところ想定はありません。ただし、保育所近くの駐車場については、保育所の開所時間に合わせた、開門・閉門を検討しています。
駐車場の台数を 200 台見込んでいるが、こんなに必要か。	北側駐車場は、既存の母子健康センターの事業や（仮称）こどもセンターの利用者想定数から、150 台程度必要になると考えています。保育所周辺の駐車場については、入口付近の混雑回避のために 50 台は必要と考えています。
施設利用とは関係ない人の無断駐車対策は検討しているのか。（ステッカーでの警告など）	無断駐車対策は今後検討していくこととなります。
基本構想・基本計画において、東側道路からの出入口の位置をなぜここにしたのか。	東側道路については、ゆうゆうバス等の出入りが想定されることから、車両の出入りがスムーズにできるこの位置としました。

屋外トイレを設置するのか。	独立した屋外トイレが必要かは、管理面等も考慮し、今後検討していくこととなります。
既存のブロック塀やフェンスは撤去するのか。	外構については、新設する予定ですが、住宅に近いブロック塀もありますので、住宅への影響なども考慮し、整備手法を検討していくこととなります。
施設整備後の保育所やこどもセンターからの音が心配である。(窓を閉め切りにしておくわけにもいかない。) 配慮いただきたい。	建物の配置については、設計の段階で見直しをします。防音壁の設置や周辺民家との離隔を十分に取れるよう検討していきます。
児童クラブの整備予定地が民家に近い。別の位置に変更することはできないか。	

⑸　施設内通路及び周辺道路の安全対策について

参加者からの質問・意見	熊谷市の見解・回答
交通量増加が予想される。それに伴う敷地内外のリスクマネジメントについてどのように考えているのか。	施設内通路に関しては歩車道の分離を検討しています。また、駐車場の台数を十分に確保することで、出入口周辺の混雑を回避したいと考えています。
どの程度の交通量の増加を見込んでいるのか。	平常時の 7 時 30 分から 20 時までの間で、延べ 650 台程度の交通量の増加を見込んでいます。入口は東側と西側の 2 箇所となりますので、それぞれの道路の交通量はその半分程度と考えています。
石原小学校側の市道のスクールゾーンの指定について検討いただきたい。	スクールゾーンの指定については、地元の総意をまとめていただく必要があります。現在指定されていない理由も踏まえ、地元の方と協議をしていきます。
周辺の学校に通う児童生徒の登校時の安全対策は検討しているのか。	石原小については、敷地内通路から真っ直ぐに道路を横断できるよう東門の門扉の移動を検討しています。また、石原小の協力により道路の拡幅を検討しています。

道路整備が小学校敷地をちょっと削って拡幅という程度では不十分。道路部局も交えてどのような整備が有効か検討して欲しい。	どのような形で対応出来るか検討していきます。
施設が出来ることにより、南側市道の交通量増加が見込まれる。何か対策は検討しているのか。	車両の出入りについては、東側と西側のみとし、南側は歩行者のみの利用を想定しています。施設利用者へは、南側市道の通行を自粛する旨の案内や標示物の設置を検討しています。
子ども向けの施設なので、防犯面やセキュリティが心配である。熊谷警察署にも相談し、対応を検討して欲しい。	具体的な対策について今後検討していきます。
西側出入口から車が往来する場合、ブロック塀が邪魔になるような気がする。視界の確保、また道路反射鏡の設置を検討して欲しい。	設計の段階で検討していきます。
一通を逆走して来る人もいる。路面標示をお願いしたい。	市道上の安全設備の設置及びその手法については、今後検討していきます。
減速を促すような視覚的表示やハンプの設置を検討して欲しい。	

⑹　施設内の防犯対策について

参加者からの質問・意見	熊谷市の見解・回答
「メルくま」でも頻繁に不審者情報が発信されている。防犯対策を充分に検討して欲しい。	（仮称）中央保育所については、他施設と分離し、児童と保護者以外は施設内に立ち入れない構造とする予定です。（仮称）こどもセンターについては、職員が巡回し監視していきます。

施設内及び周辺道路に街路灯・防犯灯を設置して欲しい。	休日・夜間急患診療所等夜間の利用が見込まれる施設もあることから、施設の入口や動線上に適切な照明を設置していきます。
防犯カメラの設置予定はあるか。	市道と施設内通路の交差部及び施設出入口付近への設置を検討していきます。
夜中に踊ったり、花火をしたりする人がいるので敷地出入口の門扉を閉めてもらいたい。	夜間の利用が見込まれる施設なので、閉門しない方向で検討していましたが、再度検討していきます。
夜間に車が自由に往来できるようになると、今より夜中に人が集まりやすくなる。駐車場の夜間の施錠を検討して欲しい。	駐車場の管理方法については、敷地内通路の管理と合わせて再度検討していきます。

⑺　その他

参加者からの質問・意見	熊谷市の見解・回答
石原小側市道の道路拡幅について知りたい。	石原小学校の協力により、石原小学校と整備予定地の間の市道の道路幅員を６m以上確保できるよう拡幅する予定です。拡幅する区間は、石原小学校の敷地の南端までを想定しています。
蚕業試験場跡地は、有害物質が出たことがあると聞いたことがある。土壌改良はしないのか。	県から購入する際に必要な調査及び措置を行っています。
整備予定地は住宅地の中だが、地域住民に対してどのような配慮や対策を計画しているのか。	防音対策としては、建物と住宅との離隔の確保及び防音壁等の設置を検討しています。また、建物を２階建てまたは平屋とすることで、周辺住宅の日照を確保します。